



第 62 回全日本合気道演武大会
奥様ヘンリエタ ハブリラ(Henrieta Havrila)さんと観覧
日本武道館 2025 年 5 月 24 日

合気道明心会 50周年記念に寄せて

マリオ チェルニー
Mário Černý

- 合気道トルナヴァ代表
- スロバキア合気道協会技術委員／合気会スロバキア
- 合気会六段

合気道明心会の創立50周年記念誌に寄稿する機会を賜り、大変光栄に存じ、また嬉しく思います。この記念すべき節目を心よりお祝い申し上げます。この寄稿は私にとって、池田昌富先生が開いてくださった道を歩み続ける上で、大きな励みであると同時に、大きな責任でもあります。

私が初めて明心会を訪れ、亀井格一師範にお会いしたのは2012年のことでした。それ以来、2025年までの間に合計5回、訪問させていただいています。今年(2026年)は、明心会からも4名の会員がスロバキアとチェコ共和国を訪問し、スロバキア合気道協会／合気会スロバキアの2つの道場、合気道トルナヴァ道場と合気道ヴセティン道場をご来訪されました。私たちの道場の間には、強い絆と深い友情が存在すると感じています。明心会を訪れることは、本当に嬉しく、これからも大きな喜びと感謝の気持ちをもって訪問させていただきます。

ここで、池田先生に敬意と追悼の意を表したいと思います。私たちが今日ここにいて、合気道の稽古が続けられているのは、池田先生のおかげです。池田先生は、比類なき、素晴らしい武道家でした。その技は並外れており、合気道の体現を通じて、数多くの弟子や指導者、合気道家にインスピレーションを与えました。その心と精神は献身的な武道家そのものであり、その胸には合気道と武道への愛と情熱が満ち溢れていました。

こうした要素 一技、心、精神、そして情熱— が、池田先生が遺した独自の指導体系と昇段審査制度を生み出し、私たちは誇りを持って受け継いでいます。私はこの宝を守り、次世代の合気道家に引き継ぐべく、全力を尽くしています。

池田先生のおかげで、私たちは今日ここに集い、友情を育み、互いに敬意を持って合気道を共に修練しています。池田先生は日本とヨーロッパの間に架け橋を築き、それが偉大な師の真の遺産なのです。

同時に、亀井師範ならびに明心会の会員皆様に、心より敬意と感謝の意を表したいと思います。2006年の池田先生の帰国から2021年にご逝去されるまで、池田先生に対して献身的なお世話と支援をしてくださったことに、深く感謝申し上げます。そのことに対し、私は心からの敬意と感謝の念を抱いています。

最後に、池田先生が残してくださった言葉を引用させていただきます。

「合気道は、人を説く武道です。技を磨くだけで無く、心を養って下さい。」

池田正富先生は、永遠に私たちの心の中に生き続けます。

チェコ共和国 チェスケー・ブジェヨビツェ

池田師範が 1995 年から 2001 年まで、
この地でセミナーを開催していました。

右がマリオ チェルニー師範 2001 年夏

